

運営推進会議等開催報告書

令和 6年 4月 24日

| | | | |
|------|----------------|------|----------|
| 事業所名 | グループホーム ガリラヤ久米 | | |
| 担当者 | 中本 映司 | 電話番号 | 970-9101 |

| | |
|--------|----------------------------|
| 1 開催日時 | 令和 6年 4月 24日 13:30 ~ 14:30 |
|--------|----------------------------|

| | |
|--------|------------------|
| 2 開催場所 | ガリラヤ久米 3F 多目的ホール |
|--------|------------------|

| | |
|-----------|--|
| 3 出席者 | |
| (1) 5人 | 居宅介護支援事業所ひろた 地域包括支援センター小野久米 松山市社会福祉協議会 民生委員 グループホームご家族様 |
| (2) 職員 8人 | 理事長 佐々木 信也 施設長 佐々木 忍 統括部長 二神 靖夫 健康管理係長 和田 久美 グループホーム係長 西岡 忍 グループホーム介護職員 中本 映司 小規模特別養護老人ホーム生活相談員 横山 恵美・吉田 千夏子 |

| | |
|----------|--------|
| 4 活動状況報告 | 別紙のとおり |
|----------|--------|

| | |
|--------------|----------------------------|
| 5 活動状況に関する評価 | 介護システムの導入等、率先してICT化が行えている。 |
|--------------|----------------------------|

| | |
|------------|--|
| 6 主な要望、助言等 | <p>① 重度化が進み動く方もいる中で事故件数が少ないことはすごいと思う。感染対策で活動が大変だと思うが体調管理に努めて外出等の季節行事も続けて欲しい。</p> <p>② 今回新しく介護システムを導入したということで、慣れるまでは記入漏れや誤入力等があると思うが気を付けて、職員の負担軽減につなげて欲しい。</p> <p>③ コロナ前に戻ってきていると感じた。面会についても段階的な形で安心材料を重ねながら徐々に緩和できている。</p> <p>④ ICT化が進められる中で新システムの導入については、他施設からは職員の高齢化や人手不足で時間がかかり、難しいと聞かすが、様々なことを率先して導入できている。慣れるまでは大変だと思うが職員の負担軽減につなげて欲しい。また、眠りSCANについても教えて欲しい。</p> <p>⑤ コロナも流行って大変な中で事故を最小限に抑える努力ができている。</p> <p>⑥ 北陸地方の震災では施設スタッフも被災しながら頑張っていると聞いた。困難な中で決めていけないといけなことが苦しいと思う。いつくるか分からない災害に備える必要がある。</p> <p>⑦ 福祉避難所の対象者を教えて欲しい。</p> <p>⑧ 日々の様子についても細かく連絡をくれるので家族として安心して居る。5月より居室面会ができるようになることを楽しみにしている。</p> |
|------------|--|

| | |
|----------------|---|
| 7 要望、助言に対する考え方 | <p>②④ 新しく介護システムを導入し介護記録を手書きからタブレット入力に切り替え、四苦八苦しながら取り組んでいる。十分体制を整えていきたい。</p> <p>③ これまでは玄関ロビーでご家族と面会していたが、5月中旬からは居室面会を開始することになった。予約や人数制限は継続して段階的に緩和していく予定。</p> <p>④ 眠りSCANについては今後の運営推進会議で詳しく報告したい。</p> <p>⑦ 福祉避難所の対象は高齢者のみではなく妊産婦や障害がある方も含まれるが、利用するには本人が行政に申請する必要がある。BCPを作成しているが実際震度6以上の震災時に何人のスタッフが参集できるか課題である。入居者の安全確保を行い豊かな生活ができるように考えていきたい。</p> <p>⑧ 面会制限を行っている分、日々の変化を連絡するようにしている。</p> |
|----------------|---|

| | |
|-----------|--|
| 8 その他特記事項 | |
|-----------|--|

運営推進会議等開催報告書

令和 6年 4月 24日

| | | | |
|----------------|--|---|--|
| 事業所名 | 小規模特別養護老人ホーム ガリラヤ久米 | | |
| 担当者 | 二神 靖夫 | 電話番号 | 970-9101 |
| 1 開催日時 | 令和 6年 4月 24日 13:30 ~ 14:30 | | |
| 2 開催場所 | ガリラヤ久米 3F 多目的ホール | | |
| 3 出席者 | | | |
| (1) | 5 人 | 居宅介護支援事業所ひろた 地域包括支援センター小野久米 松山市社会福祉協議会 民生委員 小規模特別養護老人ホームご家族様 | |
| (2) 職員 | 8 人 | 理事長 施設長 統括部長 健康管理係長 グループホーム係長 グループホーム介護職員 小規模特別養護老人ホーム生活相談員 | 佐々木 信也 佐々木 忍 二神 靖夫 和田 久美 西岡 忍 中本 映司 横山 恵美・吉田 千夏子 |
| 4 活動状況報告 | 別紙のとおり | | |
| 5 活動状況に関する評価 | 介護システムや眠りSCANの導入等、率先してICT化が行えている。 | | |
| 6 主な要望、助言等 | <p>① 平均介護度が4.4であるのに入退院が"0"は日々細やかなケアができていると思う。</p> <p>② 今回新しく介護システムを導入したということで、慣れるまでは記入漏れや誤入力等あると思うが気を付けて、職員の負担軽減につなげて欲しい。</p> <p>③ コロナ前に戻ってきていると感じた。面会についても段階的な形で安心材料を重ねながら徐々に緩和できている。</p> <p>④ ICT化が進められる中で新システムの導入については、他施設からは職員の高齢化や人手不足で時間がかかり、難しいと聞かされたことを率先して導入できている。慣れるまでは大変だと思うが職員の負担軽減につなげて欲しい。また、眠りSCANについても教えて欲しい。</p> <p>⑤ コロナも流行って大変な中で事故を最小限に抑える努力ができている。</p> <p>⑥ 北陸地方の震災では施設スタッフも被災しながら頑張っていると聞いた。困難な中で決めていけないといけないことが苦しいと思う。いつくるか分からない災害に備える必要がある。</p> <p>⑦ 福祉避難所の対象者を教えて欲しい。</p> <p>⑧ きめ細かい仕事の積み重ねが我々の安心に繋がっているんだと思う。地震もここで預かって頂いているので安心できる。</p> | | |
| 7 要望、助言に対する考え方 | <p>②④ 新しく介護システムを導入し介護記録を手書きからタブレット入力に切り替え、四苦八苦しながら取り組んでいる。十分体制を整えていきたい。</p> <p>③ これまでは玄関ロビーでご家族と面会していたが、5月中旬からは居室面会を開始することになった。予約や人数制限は継続して段階的に緩和していく予定。</p> <p>④ 眠りSCANについては今後の運営推進会議で詳しく報告したい。</p> <p>⑦ 福祉避難所の対象者は高齢者のみではなく妊産婦や障害がある方も含まれるが、利用するには本人が行政に申請する必要がある。BCPを作成しているが実際震度6以上の震災時に何人のスタッフが参集できるか課題である。入居者の安全確保を行い豊かな生活ができるように考えていきたい。</p> | | |
| 8 その他特記事項 | | | |

